

「子どもの心の診療拠点病院の整備に関する有識者会議」開催要綱

1. 趣旨

様々な子どもの心の問題、児童虐待や発達障害に対応するため、平成20年度より、都道府県における拠点病院を中核とし、各医療機関や保健福祉機関等と連携した支援体制の構築を図るための事業（子どもの心の診療拠点病院機構推進事業）を実施するとともに、中央拠点病院を整備し、人材育成や都道府県拠点病院に対する技術的支援を行うこととしている。

そこで、当該事業を効果的に実施するため、雇用均等・児童家庭局母子保健課長が学識経験者・実務者等に参集を求め、中央拠点病院が実施する事業及び都道府県が実施する子どもの心の診療拠点病院機構推進事業に対する助言、評価を目的として、有識者会議を開催する。

2. 構成

- (1) 会議の構成員は別紙のとおりとする。
- (2) 会議に座長を置く。

3. 検討項目

- (1) 子どもの心の診療中央拠点病院が実施する事業に対する助言、評価
- (2) 都道府県が実施する子どもの心の診療拠点病院機構推進事業に対する助言、評価

4. 運営

- (1) 会議は原則公開とする。
- (2) 会議の庶務は、雇用均等・児童家庭局母子保健課において行う。

5. その他

この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、座長が母子保健課長と協議の上定める。

(別紙)

「子どもの心の診療拠点病院の整備に関する有識者会議」構成員名簿

(50音順、敬称略)

氏名	所属・職名
青山 直己	真岡市立東沼小学校 教頭
今村 定臣	社団法人日本医師会 常任理事
奥山 眞紀子	国立成育医療センター こころの診療部 部長
神尾 陽子	国立精神・神経センター 児童・思春期精神保健部 部長
齋藤 卓弥	日本医科大学 精神医学教室 准教授
澁谷 いづみ	愛知県半田保健所 所長 (全国保健所長会 会長)
丸山 浩一	東京都児童相談センター 所長 (全国児童相談所長会 会長)
南 砂	読売新聞編集局解説部 次長
◎柳澤 正義	日本こども家庭総合研究所 所長

◎：座長

母子保健医療対策等総合支援事業実施要綱（抄）

第2 事業内容

1 子どもの心の診療拠点病院機構推進事業

(1) 事業目的

様々な子どもの心の問題、児童虐待や発達障害に対応するため、都道府県における拠点病院を中核とし、地域の医療機関並びに児童相談所、保健所、市町村保健センター、要保護児童対策地域協議会、発達障害者支援センター、児童福祉施設及び教育機関等（以下「保健福祉関係機関等」という。）と連携した支援体制の構築を図る。

なお、本事業は、子どもの心の診療拠点病院としての施設及び設備基準、地域の医療機関及び保健福祉関係機関等との連携体制等について検討するため、試行的に実施するものである。

(2) 実施主体

本事業の実施主体は、都道府県とする。

(3) 事業内容

都道府県は、次に掲げる事業を実施するものとし、3年を限度に補助するものとする。

① 子どもの心の診療支援（連携）事業

ア 地域の医療機関から相談を受けた様々な子どもの心の問題、児童虐待や発達障害の症例に対する診療支援

イ 地域の保健福祉関係機関等から相談を受けた様々な子どもの心の問題、児童虐待や発達障害の症例に対する医学的支援

ウ 問題行動事例の発生時における医師等の派遣

エ 地域の保健福祉関係機関等との連携会議の開催

② 子どもの心の診療関係者研修事業

ア 医師及び関係専門職に対する実地研修等の実施

イ 地域の医療機関及び保健福祉関係機関等の職員等に対する講習会等の開催

③ 普及啓発・情報提供事業

子どもの心の診療に関する情報を幅広く収集し、地域の医療機関、保健福祉関係機関等及び地域住民に対して、ホームページ等により適切な情報を提供するとともに、子どもの心の問題について普及啓発を図る。

(4) その他

本事業の実施にあたっては、中央拠点病院と連携を図り、適切な運営に努めること。



OHCHO だより創刊号

Okayama Heart of Children Hospital Organization

岡山県と当センターが行っている「子どもの心の診療拠点病院事業」について
当センターの職員の皆さまへのお知らせを、毎月1回お届けします。

この事業に関連した動き

- 児童思春期入院棟に入院している子どもたちへの学習支援（4人の非常勤職員の配置）が昨年12月からはじまっています。
- 入院中の保護者の茶話会が、1月からはじまりました。
- 県内の専門家の代表を招いた準備委員会が2月上旬に開催される予定です。
- 中央拠点病院である成育医療センターの笠原麻里先生を招いた講演会と事例検討会が4月に開かれます。ぜひお越しください（下記参照）

岡山県精神科医会総会講演会

日時：平成21年4月11日土曜日3時～

場所：岡山衛生会館中ホール

演題 「未定 児童思春期についての内容」

国立成育医療センター こころの診療部育児心理科

笠原麻里先生

この講演会は、岡山県精神科医会主催の講演会ですが、
子どもの心拠点病院事業について県内関係者に周知する会でもあります。

予告2：子どもの事例についての事例検討会

平成21年4月12日 日曜日 午前9時30分～12時30分

当院 サンクトホール

事例提供者：未定 助言者：笠原麻里先生



OHCHO だより第2号

Okayama Heart of Children Hospital Organization

岡山県と当センターが行っている「子どもの心の診療拠点病院事業」について
当センターの職員の皆さまへのお知らせの第2号です。

●2月12日に、県内の代表的な医療機関の小児科のドクターや児童精神科のドクター9名が集まり、岡山県での「子どもの心の臨床について課題」など、これから取り組むべき事業の方向性について活発に意見の交換を行いました。



- 次のような課題が指摘され（一部のみ御紹介します）、共有されました。
 - 発達障害児にはライフステージを見通した見守りの必要性がある。
 - 医師による診断の不一致、診断後の対応の不揃いがある。乳幼児期には軽度でも思春期にいたって大きな問題が起きることがある。
 - 児と母親の居場所が不足している。特に母親のメンタルヘルス支援は重要。
 - 県内に専門家や社会資源の地域差がある。
 - 小児科と精神科が合同で行う事例検討会が必要である。
- 21年度初頭に児童相談所や保健所などの行政機関を交えた意見交換会を行う予定です。

岡山県精神科医会総会講演会

平成21年4月11日 土曜日 3時～ 岡山衛生会館中ホール

演題 「現代の子どもの精神科臨床の課題について」

講師 国立成育医療センターこころの診療部育児心理科 笠原麻里先生

第1回子どもの心の診療拠点病院事例検討会

平成21年4月12日 日曜日 午前9時30分～ 当院サントホール

事例提供者：高橋由香先生、三宅聖子先生（希望ヶ丘ホスピタル）

助言者：笠原麻里先生